

平成 26 年度（国語）授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	・基本的な漢字習得ができていない生徒がいる。 ・ノートなどを正確に記入することができず、情報を整理できない生徒がいる。 ・まとまった文章を書くことに抵抗感がある生徒が多い。	・漢字の小テストなどを月 1 回程度行い、基礎学力の定着を図る。 ・ノートの取り方を指導し、ノートを單元ごとに点検していく。 ・原稿用紙の使い方から始め、視写も取り入れながら、文章を書くことへの抵抗感をなくす。	・漢字の小テスト後のやり直しを学び合いの学習として徹底する。 ・板書事項だけでなく、自主的なメモの取り方も指導していく。 ・書いたものを交流することで、新たな視点や発想を広げていく。
2 年	・基礎的な漢字習得について課題のある生徒がいる。 ・話す、聞く能力について不足している生徒がいる。 ・言語事項に対する指導を充実させる。 ・一定の文量の作文を書くことができるが、内容が伴わない生徒がいる。	・月 1 回の漢字小テストについて、漢字能力検定 4 級の内容を中心に今後も継続していく。 ・発表活動や小テストを行う。また、集団討論など少人数での話し合い活動を増やす。 ・文法、敬語など実際に使用する場面に即した指導を行う。 ・TPO を意識した作文を書かせる。	・学年で取り組んでいる 1P 学習などを活用し、基礎的な漢字の習得に役立てる。 ・希望者には放課後に補充教室等を行う。 ・定期テストの前に補充教室等を行っていく。 ・来年度への布石として 200 字程度の短い作文も書かせていく。

様式 3

3 年	・書くことにし苦手意識が強い。 ・国語の基礎となる漢字の習得を継続していく。 ・話す・聞く能力が不足している。	・言葉の意味を理解し、適切に使えるよう短作文を書いたり、感想や考えを 50 字程度で書く機会を意識的に取り入れる。100 字や 200 字の課題に数多く取り組ませる。 ・正確に漢字を習得できるよう確認テストを多く実施する。 ・授業で話す・聞く力を身に付けることで考える力を養うこともできる。聞く力は、小テストを月に 1 回行い、その都度メモの取り方などの指導を行う。また、要点や考えを明確にし、適切に伝えるよう話す内容をまとめさせる。また、集団討論の形で話す能力向上の授業を行う。	・入試に必要な生徒には、600 字程度の課題を与え添削する。 ・漢字テストの追試など行う。 ・必要に応じて希望者には放課後補充教室を行う。
--------	---	--	---